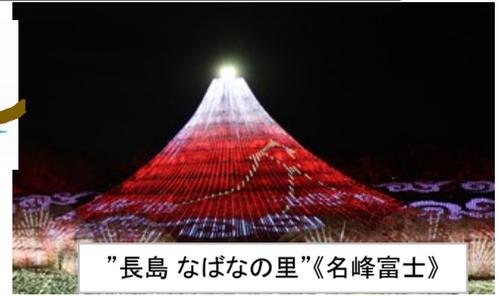


# 第78回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

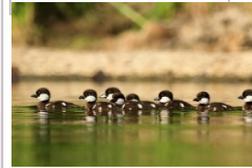
- 1 開催日 2024年12月19日 13:00～ 第4木曜日  
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性6名 ・女性1名 ・投句2名 計9名
- 3 今回の季語 十二月(師走)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 \*写真をみて一句! を試行してみる。



”長島 なばなの里”《名峰富士》

- ・ 吹く風の速さに合わせ舞う落葉
- ・ 木枯や夜半に雨戸たたたく音
- ・ 天仰ぐ省くものなし冬木立
- ・ \*鴨夫婦岸辺にあがり羽休め
- ・ \*声高く木立に響く冬の鳥
- ・ 錦秋や色艶やかに他を寄せず
- ・ 寒朝の小枝を透かす赤き月
- ・ 売り出しの幟はためく街師走
- ・ 霜柱一步踏みいる畦道か
- ・ 冬満月暫し癒しの時ターゲット
- ・ 紅の色に思わず足とまり
- ・ 氷雪にあわて逃げ込む道の駅
- ・ 右に締め左に緩め冬マフラー
- ・ \*鴨帰るモヤの水面に着水線
- ・ \*水尾引きつ流れのままのはぐれ鴨
- ・ \*寄り添うも寂し個もをる浮寝鳥

\*写真で一句!  
兼題: 冬の鳥



冬鳥



## 選外句

- ・ 行き暮れし物の思いの除夜の鐘
- ・ 朝モヤの灯火で透す紅葉かな
- ・ 寒晴の東の空にあかね雲
- ・ 案内僧まずは笑いはせ白障子
- ・ 君が足炬燵の中で絡み合う
- ・ 朝日浴び紅く染まりし櫻葉よ
- ・ 霜柱踏みしめる音ザックザク
- ・ \* 群れ成して鴨の泳跡池寒し
- ・ \* 憎まれて愈々寒の鳥かな
- ・ \* 冬鴨や目立つ羽色水に映え
- ・ \* 冬の鳥飛び立つ姿連写に

- 5 講評・添削 披講担当: 園田 さん
- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

・天仰ぐ省くものなし冬木立  
↳ “はぶくもの無し” ◀ 葉っぱが散り終えた後の表現が素晴らしい!

・寄り添うも寂し個もをる浮寝鳥  
↳ <<うきねどり>>  
↳ “群守る個の”に詠み変えた方が良いのでは…!?

・水尾引きつ流れのままのはぐれ鴨  
⇒ 水鳥が水面を泳いだ跡の軌跡を表す同意語  
・群れ成して鴨の泳跡池寒し

- 2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

・右に締め左に緩め冬マフラー  
↳ あえて“冬”の表現は不要では…?!

・氷雪降りてあわて逃げ込む道の駅 △1  
↳ “ヒョウ(雹)”は夏の季語 ⇒ “ヒョウセツ”の方が良いのでは?

・群れ成して鴨の泳跡池寒し  
↳ 季語重なり!

直し⇒ 氷雪にあわて逃げ込む道の駅

- 6 次回(#78)開催日 2025年1月23日 13:00～(15:00) 第4木曜日
- 兼題: 一月(睦月)の季語全般
- 写真で一句 : 初○○
- 歳時記を参考に!
- 大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!  
注2) ”五七五”の17音(文字)を満足すること!